

内閣総理大臣杯争奪  
第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2013年5月5日 14時00分開始

決勝

東京体育館 M - 8

◎  
宮城MAX  
(東北)

77

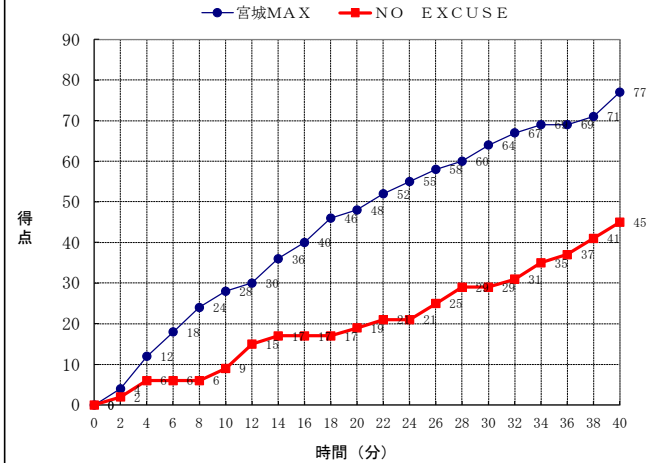
28 1クォーター 9  
20 2クォーター 10  
16 3クォーター 10  
13 4クォーター 16

45 NO EXCUSE  
(東京)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
* 4	豊島 英 (2.0)	17	0	8	1	-	-	1	* 4	安 直樹 (4.0)	18	0	9	0	-	-	0
* 5	藤本 怜央 (4.5)	28	0	13	2	-	-	1	* 5	佐藤 大輔 (2.0)	0	0	0	0	-	-	1
6	東海林 和幸 (1.0)	2	0	1	0	-	-	0	6	石井 康二 (2.5)	3	0	1	1	-	-	2
7	五十嵐 雄也 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0	7	寺田 正晴 (3.0)	0	0	0	0	-	-	1
* 8	佐藤 聡 (1.0)	6	0	3	0	-	-	3	8	大嶋 義昭 (1.0)	4	0	2	0	-	-	1
9	増淵 倫己 (3.0)	6	0	2	2	-	-	1	9	大曾根 佳太 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 10	中澤 正人 (4.0)	10	0	5	0	-	-	1	10	菊池 隆朗 (1.0)	2	0	1	0	-	-	0
11	加藤 芳博 (3.0)	2	0	1	0	-	-	0	* 11	森 紀之 (1.5)	4	0	2	0	-	-	3
13	高橋 浩則 (2.5)	4	0	2	0	-	-	0	* 12	菅澤 隆雄 (4.5)	14	0	6	2	-	-	1
14	向後 寄夫 (1.5)	2	0	1	0	-	-	0	* 13	湯浅 剛 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 15	藤井 新悟 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0	14	田仲 幸生 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
16	菅原 志朗 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	15	田中 聖一 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
									18	西岡 尚輝 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
									19	八木沼 辰弥 (3.0)	-	-	-	-	-	-	-
HC	岩佐 義明								HC	及川 晋平							
AC	石川 大介								AC	中井 健豪							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	宮本 有里恵							
マネージャー	生畑目 有希								マネージャー	杉山 美穂							
マネージャー	会田 優								マネージャー	相川 恵里							
	岩佐 康太								トレーナー	山下 正信							
	合計	77	0	36	5	0	0	7		合計	45	0	21	3	0	0	9

主審： 杉山 兼芳  
副審： 菅野 英輔  
副審： 加藤 昌樹

得点経過



〔 戦 評 〕

(担当：村田/佐々木/石原/松木)

1Q ジャンプボールは白5番・藤本対黒12番・菅澤で、白ボールから始まる。先制点は白10番・中澤が決める。安定した滑り出しで、#5が連続でシュートを決める。対する黒は4番・安がミドルシュートを決めていく。白は#5と#6のミドルシュート、#4の速攻によって得点を重ねる。一方、黒は白の厳しいマークによってなかなかシュートが決まらず、点差が開いていく。さらに白は#4のスピードを活かして、ディフェンスからの速攻で更に点を重ねていき、終始白のペースのまま1Qを28対9で終える。

2Q 2Qに入っても白の勢いは変わらない。黒は#6に変えて#7を投入し、白#5をバックコートに止め、厳しいディフェンスを続けるが、白#4が得点源となりまたも点差を広げていく。黒は白の厳しいディフェンスによってインサイドに入れず、更にミドルシュートも入らない。1Qに引き続き、黒のペースのまま48対19で2Qを終える。

3Q 白ボールからスタート。両チームともローポイントで点を取る。黒は#4を中心にオフェンスを展開していき、その後黒#6もシュートを決め少しずつ点差を詰めていく。一方、白はシュートチャンスは減ったが、確実に点を重ねていく。白のオフェンスチャンスが減少している間に黒は点差を詰めたかったが、白の堅い守りによって思うように点差を詰めることができない。3Q終盤に白が再び点差を広げたところで、64対29という大差で3Qを終了した。

4Q 両チームともスタートメンバーに戻し4Qがスタートした。黒#4がミドルを決めだし、徐々に流れを作っていく。しかし、3Qまでの大差を大きく縮める事は出来ない。4Q終盤に白のスタートメンバーがベンチに下がりで黒のインサイドが決まり始めるが、残り2分点差は30点以上あり、厳しい展開は変わらない。4Qは、白の得点を黒が上回ったが、最終的には77対45の32点差で白が勝利した。